

令和7年度 認定認知症領域検査技師 JSDP 技師講座

(通算第13回米子研修会に代わる講座である)

生涯教育研修制度 : 専門教科 30 点

テーマ	認知症医療における予防と共生を深めるため、認知症診断治療の最前線を学び、認知症医療の現場で活躍している多職種の報告から学ぶ。これからの認知症診療および予防について考える
目的	認定認知症領域検査技師 資格未取得者・資格取得者のための講座 (同認定制度における 40 単位相当)
会 期	2026 年 2 月 1 日 (日) 9 時 00 分～2026 年 2 月 28 日 (土) 23 時 59 分
会 場	日臨技 Web 研修会システムより視聴
内 容	<p style="text-align: right;">(敬称略)</p> <p>開講挨拶・オリエンテーション 認定認知症領域検査技師制度の規則と今後について (10 分) 日本臨床衛生検査技師会 担当理事 松田 美津子</p> <p>講演 1 「認知症診療の新時代～脳外科医が扱う認知症治療～」(60 分) 医療法人 治久会 もみのき病院院長 森木 章人</p> <p>講演 2 「海外の認知症支援」(60 分) 鳥取大学医学部保健学科 認知症予防学講座(寄附講座)教授 浦上 克哉</p> <p>講演 3 「アルツハイマー型認知症のほんまの原因は何なん？ ～現時点での文献的考察～」(45 分) 関西医療大学保健医療学部 臨床検査学科 教授 上田 一仁</p> <p>教育企画 1 認知症領域における活動事例の紹介 認知症に関わる活動を行うフィールドは多岐にわたる。また、組織としての取り組みのみならず、自分自身の思いから個人的に取り組みを始める人も少なくないだろう。さらに、臨床検査技師が認知症領域において必要とされる職種と認識していたくには、学会や論文等で活動報告を行っていくことも重要である。認知症に関する活動事例を通じて、自分ができることを考えるきっかけにしていきたい。 (1 人あたり講演 10～15 分)</p> <p>「耳鼻科領域による当院での認知症領域検査技師としての関わりかた」 東北医科薬科大学病院 検査部 阿部 朋子</p> <p>「臨床検査技師が行える身体拘束ゼロでの検査実施に対する工夫」 横浜市立大学附属病院 臨床検査部 生理検査室 服部 愛</p> <p>「認定資格を持つものとして。～できる範囲の活動紹介～」 滋賀医科大学医学部附属病院 検査部 藤村 博和</p> <p>教育企画 2 医療・介護の取り組み 各分野の認知症医療、介護等の取り組みを共有し、認知症への理解を深める。</p>

	<p>(各講演 30～45 分)</p> <p>「理学療法士の専門性を活かした認知症予防の実践アプローチ」 東京都済生会中央病院 認知症疾患医療センター 國枝 洋太</p> <p>「認知症ケアについて 摂食・嚥下障害看護の視点から (仮)」 伊那中央病院 摂食嚥下認定看護師 池上 敦子</p> <p>「作業療法士としての認知症の方とのかかわり (仮)」 日本医療科学大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻教授 小林 毅</p> <p>「認知症ケアチームの活動 -身体拘束防止の取り組み-」 医療法人財団明理会 鶴川サナトリウム病院 認知症看護認定看護師 内田 愛美</p> <p>※プログラムは 2025 年 10 月時点のもので、都合により一部変更になる可能性があります。</p>
募集人員	200 名
参加資格	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 会員 (認定認知症領域検査技師認定資格未取得者 + 取得者)
受講料	10,000 円 (クレジット決済のみ)
申込締切	2026 年 2 月 16 日 (月)
申込要領	<p>＊ WEB からの事前受付</p> <p>会員専用ページ ⇒ 生涯教育 ⇒ 行事検索 ⇒ 日臨技又は支部 講習会选择 ⇒ 事前登録</p>
申込先	<p>〒143-0016 東京都大田区大森北 4 丁目 10 番 7 号</p> <p>一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 事務局 電話 03-3768-4722</p>
注意事項	受講のための機材の準備や通信料の負担については各自でお願いします
主 催	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
共 催	一般社団法人 日本認知症予防学会